

3M ERTトレーニング

Emergency Responce Team 初級体験コース

～緊急事態に強い組織づくりを支援します～

3M



2020年7月、スリーエムジャパン株式会社及び、株式会社日本政策投資銀行、株式会社日本経済研究所は「3M ERTトレーニングの提供に関する業務協力協定」を締結し、お客様の緊急事態や感染症対応に関する課題を解決するサービス提供を行っていくための協業を実施していくことといたしました。

3M ERT(Emergency Response Team)トレーニングとは

3M ERTとは事業所における大規模自然災害等のオールハザード対応の社員による緊急即応チームを指し、災害対応活動を支援する形で米国にて実施されている3M ERTを日本の企業、慣習、法令などに適合するように改良し日本版3M ERTとして構築しました。

3M ERTは現場指揮班、救助班、救護班の3つの班で構成され、それぞれが緊密に連携を取りながら、逃げ遅れた社員や関係者を救出し、応急手当などを施して、公助などによる支援の手が差し伸べられるまで、自社社員により負傷者の命を繋ぐ活動などを行うこととなります。

企業の緊急事態対応における3つの課題の
様々な解決方法をお持ち帰りいただけます。

✓ 多発・複合化する
様々なリスクへの対応

大規模地震、異常気象、感染症…多様なリスクに対して従業員を身体・精神的に守り事業継続を果たす備えがあるか。

✓ 助かる為に本当に
必要な訓練の欠如

訓練のリアリティ再現が困難であることより、本当に事が起こったときに何をしたらいいのか想像できない。

✓ 自助・共助の確立

大規模災害など、公的な支援が到達するまでにリードタイムがあっても自ら生き残る体制はできているか。

参加上のご留意事項

- 動きやすく汚れても良い服装、スニーカー様の靴でお越しください
- 参加にあたり、「血液や傷口など」不快と感じる方、苦手な方、身体的に問題を抱えている方(例:腰痛等)は当日インストラクターに申し出てください。(配慮させていただきますので安心して参加してください。)

トレーニング内容

災害心理学

緊急事態発生時に生じる心理的問題の解説と解決策の提示

- ・ 人は何故逃げ遅れるのか？災害時に生じるバイアス
- ・ 災害対応を行う担当者／要救助者が抱える精神的なリスク
- ・ 緊急時のメンタル問題に対して私たちができることは。

資機材の 使い方と 応急手当

ERTを稼働させるために必要な資機材の使い方を学ぶ

- ・ 各種衛生用品などの正しい使い方と実践
- ・ 応急手当の方法と実践
- ・ 市民トリアージの方法と実践

ERT組織論

日本国内の企業組織に適合したERT組織の作り方

- ・ ERTに求められる行動指針
- ・ 指揮班・救護班・救助班の運用ポイント

探索・救出

救える命を救うためにあなたは何かができるか

- ・ 建物の目視による安全確認の方法
- ・ 現場の状況に応じた探索技術
- ・ 負傷者等の搬送技術

総合演習

リアルな緊急時対応訓練を知り企業防災変革の第一歩とする

- ・ 緊急事態の発生状況を再現し、救助・被災をそれぞれ体験
- ・ 講評



参加者の声

現実に災害が発生したときの初動アクション(救出)が学べたのは非常に良かった。

組織内で災害対応の必要性を理解していないので、なんちゃって防災訓練しかできていないのが危険とわかった。

災害時に起こりえる状況を改めて洗い出し、今回の体験を踏まえて社内の訓練、準備に役立てたい。